



# tasar

Japan Tasar Assocation  
<http://www.tasarjapan.org/>

# 102

Tasar News Letter  
Vol.102  
Dec. 2016



10月9日-10日 第31回全日本選手権大会が和歌山セーリングセンターにて開催されました

## CONTENTS

チャレンジ .....	1
協会からのお知らせ .....	2
ワールド準備状況報告～その2～ .....	4
オータムレガッタレポート .....	7
第31回全日本選手権特集 .....	9
【寄稿】ダクロンセイルの集い .....	14
【巻末添付】年次総会議事録、レース成績 .....	15

## チャレンジ

会長 田中 郁也

いよいよワールドイヤールの幕が開きます。

この1年がテザーセーラーの皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます。また、三河湾をはじめとする日本各地の海で、ワールドイヤールにふさわしく多くのテザーが帆走することを期待したいと思います。

今号には、2017年蒲郡ワールドの準備状況（第2報）が掲載されていますので、是非お読みいただきたいと思います。年が明けると大会準備も一層加速します。今年はいろいろな方法で大会に関する情報を発信していきますので、よろしくお願いします。

蒲郡ワールドの企画・準備にあたり、大会を特徴づける3つのことに取り組んでいます。

1つ目は、日本らしさの演出です。“和へのいざない”のテーマのもとで、宿泊では三谷の温泉旅館への滞在を準備しました。また、大会がスタートする7/29-30は地元の“蒲郡まつり”が行われます。30日夜は大玉の花火で有名な花火大会をお楽しみいただけます（人出もすごいそうです）。大会期間中には、日本風のお座敷宴会（皆さん浴衣で集合!?!）、8/4のレイデーを利用したエクスカーションでは日本を感じるプログラムを企画していきます。

2つ目は、アジア最大のテザーイベントを目指すこと。テザークラスの活力を国内外に示すことがねらいです。過去のワールド最多参加艇数は2005年豪・ダーウィンの131艇、豪以外では2001年英国・ウィットタブルの100艇が最多です。これらに匹敵する参加艇を得て、にぎやかなイベントにしたいと念じています。幸い、オーストラリアを中心に多くの海外艇参加が見込まれており、見通しも明るくなってきました。テザーセーラーの皆さん、どうぞこの機会をお見逃しなく。

最後は、「目指せ、日本人初世界チャンプ！」です。ワールドチャンピオンを決めるのにふさわしいレースの舞台は、三河湾と海上運営に当たられる愛知県連の皆様が用意していただけます。この目標の成否は、参加される選手の皆さんの気持ちによるところが大きいと思います。この冬から、準備とトレーニングを始めましょう。3月には絶好のトレーニングの機会を設けました。3/12-13の練習会とミッドウィンターレガッタ@江ノ島です。3/12はプロセーラーによるコーチングのもとで練習会を行います。多くの方の参加をお待ちしています。このほか、現地でのトレーニングの機会を確保する予定です。

最近、上記3つのチャレンジに、もう一つのことが加わりました。それは、テザーワールドを多くの方に知ってもらい、見てもらうための試みです。パブリックビューイングやレース観戦の機会を設けて、テザーセーラー以外の人たちにも大会会場に足を運んでいただくとともに、国内外のテザーセーラーと地域の方々との交流機会を作ることを考えています。2017年10月に日本初開催となるセーリングワールドカップにおいて、JSAFが行われる取組とも連携して進めていきます。

今年もテザーを楽しみましょう。

## 協会からのお知らせ

### 2016 年度日本テザー協会年次総会のご報告

10月8日、和歌山セーリングセンター2F会議室において、2016年度の年次総会が行われました。出席者は会員22名とオブザーバー9名でした。今年度の活動内容、次年度の活動予定、会計報告（前年度決算報告/今年度中間報告/ワールド会計状況報告）および、ワールド準備状況について、それぞれ担当理事から報告があり、質疑応答、意見交換が行われました。続いて、2017年度の予算案についての審議が行われ、質疑応答のうえ承認されました。巻末に議事録を添付しております。

なお、総会資料は、日本テザー協会（JTA）会員にはメールにて配布済みです。JTA会員の方で総会資料が必要な場合には、[jta-information@tasarjapan.org](mailto:jta-information@tasarjapan.org)までご連絡ください。

### Kazi 誌にテザーの特集が掲載されました

このたび、12月5日発売のKazi誌（2017年1月号）で、プロセーラーの本吉夏樹さんが連載執筆する「Sailboat Trial」に、テザーが取り上げられました。本吉さんご本人も小学生の頃から親しんだテザーの魅力を、丁寧に解説してくださっています。艇の特性のみならず、フリート活動の間口の広さや、2017年蒲郡ワールドについても触れられています。バルクヘッドマガジンの平井さんの素敵な写真とともに、オールカラー6ページの、久々の大特集です。

みなさまの書棚にも、どうぞ1冊。

この記事をきっかけに、テザーが気になる人が増えるとうれしい限りです。

### 2016 年度スケジュール

今年度のイベントは、3月開催のミッドウィンターレガッタ（および前日の練習会）のみとなりました。最後のTasar Sailor of the Yearの算定対象レガッタです。奮ってご参加ください。

日 程	イベント名	場 所	備 考
4/23(土)~4/24(日)	スプリングレガッタ ★	葉山	
7/10(日)	西日本選手権 ★	芦屋	9(土)練習会開催
7/16(土)~18(月-祝)	海陽セーリングカップ	蒲郡	オープンヨットレース
8/27(土)~28(日)	ミッドサマーレガッタ ★	猪苗代湖	
9/25(日)	オータムレガッタ ★	稲毛	24(土)練習会開催予定
10/8(土)~10(月-祝)	全日本選手権 ★	和歌山	
<b>2017/3/12(日)</b>	<b>ミッドウィンターレガッタ ★</b>	<b>江ノ島</b>	<b>11(土)練習会開催予定</b>

★ : Tasar Sailor of the Year の算定対象レガッタです

## JTA 理事メンバーのご案内

すでに協会のホームページでご案内しておりますように、2016年4月にJTA理事会が新体制となり、理事の交代がありました。現在の理事構成は下記の通りとなっております。新しい理事として、葉山フリートの米本さん、大阪北港フリートの石川さんが加わりました。（任期：2016年4月1日～2018年3月31日）

会 長	田中郁也	(稲毛フリート)
副会長 / 広報委員長	亀山寛達	(稲毛フリート)
会 計	池田陽平	(稲毛フリート)
事務局	植田泰平	(芦屋フリート)
メジャー/ ルール普及担当	軽部竜也	(稲毛フリート)
イベント担当	米本 隆	(葉山フリート)
強化 担当	村岸恭明	(江ノ島フリート) / 石川光輝 (大阪北港フリート)
普及 担当	渡辺克充	(芦屋フリート) / 亀山寛達 (稲毛フリート)

### 新理事からの一言

\*強化担当 石川 (大阪北港フリート)

昨年度末に依頼を受けまして今年から新任理事に就任いたしました大阪北港フリートの石川です。昨年、一昨年の皆勤賞に続けて今年も公式戦の3年連続皆勤賞をいただけそうなペースで公式行事に参加していますので、この2～3年の間にレガッタに参加いただいた方とはどこかでお会いしているかと思っています。

強化担当理事という実力に見合わない役を拝命することになったのですが、来年のワールドのスローガンである「求む、初日本人チャンプ！」に向けての強化は、もう1名の強化担当である村岸さんにお任せして、私は幅広いセーラーにテザーとレースと遠征の楽しみを知っていただくための強化に力を注ぎたいと思います。特に遠征を最大限に楽しむための、楽なカートップシステムや遠征先のグルメ情報に至っては間違いなく一番研究していると自負しております。

これからも仕事や家庭の許す限り、積極的にレガッタに参加して参りますので、ぜひ遠征先で皆さんと情報交換をさせていただきます。

\*イベント担当 米本 (葉山フリート)

協会理事(イベント担当)を仰せつかり、今年は改めてテザーコミュニティの素晴らしさに気づかされました。選手自身が大会やイベントを作り上げていく。理事・FCを中心にみなさん非常に献身的で頭が下がります。私も少しずつ勉強させて頂きながら、みなさまの力になれるようになっていきたいと思っています。

来年2017年はワールドイヤーです。レース機会を増やすため、5・6月頃にアーリーサマーレガッタの開催を企画しています。節目の年をともに盛り上げていきましょう。どうぞよろしく願いいたします。

#### テザー協会新年会のお知らせ

日時：2017年1月29日(日) 17時～

場所：つばめグリル 品川駅前店  
港区高輪4-10-26  
TEL: 03-3441-0121  
\* 品川駅(高輪口)より徒歩2分

会費：5,500円(予定)

詳細は、追ってご連絡いたします。日本テザー協会のホームページにも掲載します。

2017年蒲郡ワールド開催（2017年7月30日～8月6日）まであと8か月、前回報告からの進捗を報告します。公式情報はワールド準備委員会（広報グループ）が運営する大会ウェブサイトに掲載しています。

<http://tasarworlds2017.org/>

1. レース公示（Notice of Race）の公開

ワールド準備委員会（レースプランニンググループ）が準備を進め、9月末にレース公示を公開しました。現在は英文の正式版のみの掲載ですが、1月末には日本語訳（あくまで参考であり、正式版は英文です）も掲載予定です。

<http://tasarworlds2017.org/archives/377>



TASAR WORLD CHAMPIONSHIP 2017  
GAMAGORI

以下、レース公示に記載した大会参加のための要件をご案内します。

○エントリー（Entry）

アーリーエントリー：2017年5月31日まで エントリー料は60,000円  
以降のエントリー：2017年7月14日まで エントリー料は70,000円

○受付（Registration）

すべての艇は、2017年7月31日17:00までに、レースオフィスで受付しなくてはならない。  
\*受付・計測は、7/30（日）と7/31（月）の2日間で実施します。

○スケジュール（Schedule）

7/30 日曜日	10:00 - 17:00	受付・計測
7/31 月曜日	10:00 - 17:00	受付・計測
	12:00	ブリーフィング
	14:00	プラクティスレースの予告信号
8/1 火曜日	10:00	ブリーフィング
	12:00	最初のレースの予告信号
	8/2 水曜日	10:00
8/3 木曜日	12:00	最初のレースの予告信号
	10:00	ブリーフィング
	12:00	最初のレースの予告信号
8/4 金曜日	レイデイ	
8/5 土曜日	10:00	ブリーフィング
	12:00	最初のレースの予告信号
	8/6 日曜日	9:00
	11:00	最初のレースの予告信号

14時より後には予告信号は発せられない

○計測 (Measurement)

計測の方法は2017年7月1日以降にウェブサイトで公開します。

○帆走指示書 (Sailing Instruction)

帆走指示書は2017年7月1日以降にウェブサイトで公開し、受付で配布します。

○保険 (Insurance)

各参加艇は本レガッタにおける事故に対し1人あたり1億円相当(日本円あるいはその他の通貨)以上の有効な第三者対人・対物賠償責任保険に加入していなければならない。

2. ワールド参加検討のための各種情報

○オンラインエントリー開始予定

オンラインエントリーは、来年1月末に開始予定です！

○海陽ヨットハーバーの艇置きについて

大会期間中のハーバー使用料(艇置き料950円/日、水道代150円/日)は主催者が負担します。ワールド参加艇のハーバー使用は7/8(土)~8/7(月)の1か月間で手続きする予定です。このため、エントリー済みの方は、大会が始まる3週間前(7/8~)から無料で艇置きできます！出艇した場合には水道代150円/日・艇が必要となりますので、7/8~7/28の間に出艇した場合の水道代は各自でお支払いください。直前の現地練習の機会としてご活用ください。

○宿泊予約について

ワールド準備委員会(宿泊グループ)は、三谷温泉旅館振興協同組合及び地元のホテルのご理解とご協力により、テザー大会関係者用(選手、家族、運営関係者)にお部屋を提供しました(申込期間2016年9月20日~2016年12月26日)。お陰様で国内外から多くの申し込みがあり、温泉旅館に関しては確保した5旅館すべての部屋に予約が入りました。

今後は、各自でのご予約をお願いします。ワールドの期間(2017/07/30-8/6)は、夏休み期間中でもあり、海陽ヨットハーバー周辺の宿泊施設は混雑が見込まれることから、まだ宿泊予約をされていない方は早めの予約をお薦めします。

<三谷温泉旅館>

- ・松風園 <http://www.shofuen.jp/> e-mail : info@shofuen.jp
- ・明山荘 <http://www.meizanso.com/> e-mail : info@meizanso.com
- ・ひがきホテル <http://www.higakihotel.com/> e-mail : yoyaku@higakihotel.com
- ・平野屋 <http://www.hotel-hiranoya.co.jp/> e-mail : info@hotel-hiranoya.co.jp
- ・三河海陽閣 <http://www.kaiyoukaku.com/> e-mail : info@kaiyoukaku.com

<ペンション>

- ・オレンジペンション 蒲郡市大塚町星越 52-8  
電話 : 0533-59-7956 e-mail : orangepe@lilac.ocn.ne.jp

<ホテル>

- ・ホテルAZ <http://www.az-hotel.com/gamagori/>
- ・蒲郡ホテル <http://www.gamagori.co.jp/index.html> e-mail : info@gamagori.co.jp
- ・蒲郡クラシックホテル <http://www.classic-hotel.jp/> e-mail : front@gamagorich.com

### 3. 海外からの参加見込み

海外からの問い合わせには、ワールド準備委員会（海外窓口）が対応しています。  
現時点で、既に多くの海外セーラーからワールド参加に関する照会を受けています。

オーストラリアからは7コンテナ（40ft×4+20ft×3）の参加を計画しているとの連絡があり、コンテナグループおよび海外窓口が対応しています。ニュージーランド・オランダ・イギリスからはチャーター艇の問い合わせを受けており、チャーターグループおよび海外窓口が対応しています。

米国は2~8チームの候補艇がいて、コンテナでの輸送かチャーター艇利用が悩ましい状況とのことです。  
本大会の海外艇参加は40~50艇になるものと見込んでいます。

### 4. 大会協賛企業と補助金活用について

#### ○大会協賛

ワールド準備委員会（協賛G）は、大会をより盛り上げるために協賛を募集しています。2016年12月現在で協賛していただける企業は、下記となっております。

- ・東洋工業様
- ・パフォーマンスセイルクラフトジャパン様（MUSTO）
- ・株式会社 大月真珠様

#### ○補助金活用

本大会は、以下の補助金を活用させていただけるよう申請準備を進めています。

- ・日本スポーツ振興センター「スポーツ振興基金助成金」・・・JSAFを通じて申請予定

### 5. 各種募集について

#### ○大会協賛の募集

ワールド準備委員会（協賛G）は、大会協賛していただける企業・個人を引き続き募集しています！  
説明資料などを完備していますので、心当たりのある方は下記までご連絡ください。

[japanworld@tasarjapan.org](mailto:japanworld@tasarjapan.org) 担当：野口、石原、櫻井

#### ○Tシャツデザイン公募（締め切りは2/5（日）です）

ワールド準備委員会（グッズ企画G）は、第2弾Tシャツのデザインを公募しています。テーマは「テザーファンが街で着たがるデザイン」です。あなたのデザインでテザー界、セーリング界を元気にしてください。テザー協会HPに募集要項を掲載しています。

<http://tasarjapan.org/index.php/events/raceint/175-tasarworlds2017-tshirtdesign-2>

担当：亀山、野口

#### ○チャーター艇募集

ワールド準備委員会（チャーターG）は、コンテナが出せない国から参加を希望している海外セーラー向けのチャーター艇を募集しています。ご自分の艇をご提供いただける方、もしくはチャーター艇の心当たりのある方は、下記までご連絡ください。

[japanworld@tasarjapan.org](mailto:japanworld@tasarjapan.org) 担当：関口、三輪、平田

#### ○ボランティア募集

ワールド準備委員会（事務局）は、大会期間中の陸上スタッフ・広報スタッフ・通訳スタッフも、テザーセーラーのご家族・ご友人のボランティアに期待しています！！ ボランティア参加希望の方は、下記までご連絡ください。

[japanworld@tasarjapan.org](mailto:japanworld@tasarjapan.org) 担当：関口、亀山

## オータムレガッタレポート

### ワールドまで 10 カ月！ 2016 稲毛テザー・オータムレガッタ

9月25日、千葉県・稲毛ヨットハーバー沖で「テザー・オータムレガッタ」が開催されました。前日の雨模様から一転して天気は晴れ。地元の稲毛勢を中心に、江の島、葉山、浜名湖、大阪北港から12チームが参加し、予定された4レースを実施しました。

第1レースこそ風軸が定まりませんでした。第2レース以降は西風で安定し、稲毛にしては珍しく振れの少ない(周期が長い)風が続きました。また吹いてもオンデッキという風のコンディションともあいまって、じっくりゆっくりと時間が進むようなレース展開となりました。我慢強くスピードを落とさずに走りながら、風の振れ幅を見極めることが勝敗のポイントとなったようです。

優勝は軽部・軽部の夫婦チームでした。得意の微風コンディションでのスピードを武器に、第3レースまでを1-1-1位でまとめて優勝を決めました。スキッパーの軽部 香選手にとっては、かつてのチームメイトでもあり、高校の先輩(総合3位の関根選手)から受けるプレッシャーはきつかったようですが、近くを走ってもなるべく目を合わせず走りに集中したことが勝因となったようです。

昨年の勝者である佐藤・村岸組は2位。近年のテザーのレガッタでは圧倒的な優勝回数を誇る彼らですが、「稲毛は他と比べて勝率が低い」と言う通り、少し苦手な海面のようです。しかし、船を揺らさずスピードロスが少ない走り、着実に順位を上げていくレース展開はさすがの一言です。

3位に入った関根・村山組は、数年ぶりにテザーにカムバックした村山選手が、会社の先輩でもある関根選手に声をかけて結成されました。テザー以外の他クラスでも実績が十分にある2人は、毎レースともスタートは第一線から出て最初の上マークは上位で回るパターンを決めていました。合計体重145kgというウエイトでは軽量チームと並んで走るとしんどい場面もあったようですが、着実なレース運びで大崩れすることなくまとめていました。

出走艇数は12艇とはいえレベルが高く、各チーム、シビアな戦いを余儀なくされるレガッタでした。



12チームが参加したオータムレガッタ



優勝 軽部・軽部組



2位 佐藤・村岸組



3位 関根・村山組

今年のオータムレガッタには 12 艇が集まりました。

1 日を通して軽風で、シフトの少ない安定したコンディションでした。

普段の稲毛のレースではもっと振れが多いので、上マークまでにタックを繰り返していくことが多いのですが、今回は 1 回のタックで走る距離が長かったです。となると他艇と並んで走る時間が長く、艇を止めずに走ることが、コースを組み立てるうえで必須だったように思います。

今回のレースでは、これまで練習会で教えてもらったことをおさらいしながら臨みました。(スタートではラインに近づきすぎない、コースの選択肢を残しながらタックポイントを考える、など)。

得意なコンディションで優勝できて良かったと思いますが、まだまだ上手いかない点もありました。これから限られた時間の中でひとつひとつの精度を高めてワールド本番を迎えるようにしたいと思います。

皆さんがモヤモヤする軽風レースで印象に残ったことがあります。3 位に入った関根・村山組です。関根さんは磯辺高校ヨット部の 6 つ上の先輩で、2003-2004 年は私とコンビを組んでデーザーのレースを盛り上げてくれました。2009 年開催の和歌山ワールドでは総合 7 位の実力者です。

始めた時からずーっとクルーで参戦していましたが、今回は初のヘルム。練習も(ほとんど)していないのに、今回の参加者中では重量級の方なのに、3 位入賞。「さすがです」

--としか言いようがありません。

ワールドでの活躍を見たい。

……と後輩は思ったのでした。



## ミッドウィンターレガッタへのお誘い

2017 年最初のレースは、3/12 (日) に江ノ島で開催されるミッドウィンターレガッタです。

ワールドに向けてすでに多くのチームが活動を始めています。例年、3 月の江ノ島は良い風が吹きます。まだまだ寒いですが、ワールドに向けて、2017 年のレースはミッドウィンターからスタートさせましょう。

前日の、3/11 (土) には、朝 10 時~本吉夏樹さんによる講習会を予定しています。チューニングの理解、帆走スピードの向上を目的に 1 日講習会を実施しますので、是非前日からお越しください。オリンピックの準備が始まりあわただしい江ノ島ですが、ぼっちりレースを楽しんで頂けると幸いです。

みなさまの参加をお待ちしております。

さあ、みなさん江ノ島に向けて動き出しましょう。

## 第 31 回全日本選手権大会特集

### 高橋／杉浦、初出場・初優勝を飾る

10月9、10日、和歌山セーリングセンターで「第31回テザー級全日本選手権」が開催されました。来年の蒲郡ワールド参加を視野に集まった25艇のほとんどが遠征チームです。初日の朝は雨でしたが、レースが始まる頃には前線が通過して雨が上がり、良い風の中で全6レースのハイレベルな戦いが繰り広げられました。



初日は前線通過に伴う強風の中で出艇。6～8m/sの強弱と振れのある風で3レースが実施されました。トップは1-1-2位とまとめた公式レース初参加の高橋／杉浦組、2位は4-2-1位と順位を上げた小沢／秋山組という、上位2艇が頭を出して折り返しました。

初日夜のレセプションパーティーは、和歌山セーリングクラブの皆さまによるおもてなしを受けました。各テーブルでの肉・野菜のバーベキューだけでなく、生ビールも提供され、さんま炭火焼・シラスご飯・焼きそばなど盛りだくさんのメニューでパーティーを大いに満喫しました。

2日目は、朝から晴天とはいえ強風注意報の中で出艇。初日と同様かそれ以上に強弱と振れのある風で、同じく3レースが実施されました。

結果は、初日と同様に上位の2艇が抜き出て、優勝は高橋・杉浦組、2位は小沢・秋山組、そして3位には伊藤・本吉組が入り、マスタークラス優勝は総合6位の亀山・井上組、グランドマスタークラス優勝は総合5位の田中・田中組、そしてスーパーグランドマスタークラス優勝は総合2位の小沢・秋山組という、老成するほど力を発揮するレース結果となりました。

閉会式で優勝者は「他の艇種でも活動しているが、テザーは非常にアットホーム。来年のワールドに向けてがんばりたい。日本人チームみんなで技術向上してがんばりましょう」とコメント。今後が楽しみなチームです。



2位：小沢・秋山組（琵琶湖）



3位：本吉・伊藤組（江ノ島）



美しい夕陽の中で盛り上がったレセプションパーティー

今回の全日本は、稲毛3・葉山4・江の島3・浜名湖3・琵琶湖3・大阪北港6・芦屋2・和歌山1チームという幅広いフリートから、初参加の方が5名・テザー公式レースに出場するのは5年（～15年）ぶり以上という方が4名、小学2年生から最高齢76歳まで、バラエティに富むメンバーがレースを満喫しました。

全レース風に恵まれてコース1（S-1-2-3-1-3-1-2-3-F）が採用され、参加者は存分にハイクアウトを堪能し、全日本選手権として満足度の高いレガッタとなりました。

<レポート by 関口真秀 2016年10月13日バルクヘッドマガジン掲載>

来年、蒲郡で開催されるテザーワールドに向け、今回テザーの公式レースは初出場でしたが、最後まで集中力を切らさず、いいレースを展開することができました。



初参加で優勝の高橋さん（右）と杉浦さん

#### ■初日

(得意のハイクアウトと振れタックで 1-1-2 位)

北風6mの最高のコンディションの中、予定どおり3レース実施。過去にスナイブに乗っていた経験もあり、ハイクアウトには自信があったので、クローズホールドではしっかりと艇をフラットにしてスピードを意識して走らせることができた。また、陸からの風ということもあり、風が短い周期で振れる海面であったので、普段練習している浜名湖での走りを思い出しながらアグレッシブなコース展開もできた。

#### (艇のフィッティング)

チェンプレートの調整や、トラベラーコントロールについては、まだ自分たちの中で正解が見つかっていなかったため、レース前やレース中に他艇をよく観察して、試しながら臨んだ。

船は、モスや470に比べシンプルなため、そこまで気を使わなくても済んだが、第一レース目スタート2分前にバングのクラムクリートの固定部分のリベットが飛んでしまい、台座から離れてしまうというアクシデントがあったが、予備ロープで何とか応急処置をしてレースを続行した。

#### (学んだこと)

毎回、上マークからトップ回航をする機会が多かったが、リーチングで2位の小沢・秋山組に追いつかれてしまうシーンが何度かあった。原因は、ヒールが多く上りすぎていることがわかった。小沢・秋山ペアを観察していると、常にフラットでパフをしっかりとスピードに変えていた。また、メインシートトラベラーを風下に出して比較的セールを引き込んでいないこともわかった。

#### ■2日目

初日に続き得意のハイクアウトと振れタックで 1-2-1 位 (優勝を決めた)

前日より風がまばらになり、他艇と接戦になる機会が増えた。とくに、前日競った小沢・秋山ペアのコースストラテジーはかなり精度が高く、きっちりとレースをしていた。

#### (船のフィッティング)

前日、トラブルがあったバングのクラムクリートは、リベットからネジに交換し、もう二度と同じトラブルが起きないように反対側のリベットもネジに交換した。他の部品も壊れていないか、しっかりチェックして海上に出た。しかし、2日目の最初のレースで、上マークをトップ回航して、サイドマークを回航する直前に、今度はメインブロックのカム台座ごと外れてしまうというトラブルが起こった。メインブロックの下部シャックル部分が割れたり、シャックルが外れてしまったりしたことは経験したことがあったが、台座ごと外れてしまうのは今回が初めてであった。レース中だったことと、六角レンチがなければもとに戻せなかったため、2→3マークのレグの間に、予備ロープを使いブロックをなんとか船に縛り付け、カム台座なしでレースを続行した。

基本的には、マストが折れない限り、レースをリタイヤすることは考えていないので、今回もしっかり応急処置で対応し3レースを走りきることができた。未然に見つけるにはなかなか難しい部分ではあったが、ワールド本番では絶対に起きてはならないことなので、しっかりとすべてのパーツを一度外して確認する予定です。

(最終レースで課題克服)

初日に課題であったリーチングを改善することができた。小沢・秋山ペアと接戦となり、最終レースで勝ったほうが優勝というプレッシャーのかかるレースとなった。最終日の最初のレースで、メインブロックのカム台座が外れていたため、メインシートを固定することができず、毎回タックごとに、トラベラーシートとメインシートを両方持たなければならず、ストレスフルなクローズだったため、クローズのタクティクスに繊細さが欠け、上マークから大きく遅れをとる展開となった。最終1上を回り、リーチングにさしかかった時点で、50mぐらい離れており、かなり厳しい状況ではあったが、前日からのリーチングの研究ではしりは大幅に改善され、最終レグの2→3マークのリーチングでついに追いつき、上突破することができ逆転することができた。

リーチングのスキルが上がったのは実感したが、それ以上に必ず優勝するという気持ちが全面的に出たレースでもあった。

(おわりに)

今回、最高のコンディションでのレースを運営していただきました、和歌山の皆様、本当にありがとうございました。ワールドも強い意志を持ち、優勝できるよう全力で頑張りたいと思います。またチームジャパンで上位を独占できるよう一緒に頑張りましょう！

## 全日本 2016 レポート

秋山 紀夫さん

2016年テザー全日本が、10月9-10日、和歌山セーリングセンターにて行われた。

前日前線が通過したあとの西高東低の気圧配置となり、二日とも10°~40°、北風10kt~16kt。和歌山沖、和歌浦湾だと陸地からの風となる。三角波まではないがチョッピーな波となる。

クローズホールドではフルハイクアウトからオーバーパワーでメインセールを出す場面やジブセールを出す場面もあった。

第一レースでは、クローズホールドでメインシートとメイントラベラーとの組み合わせでベストなポジションとベストセールカーブを目指したが、タックではバタバタ、パフ(ブロー)では間に合わずオーバーパワーとなり、全く安定して走れなかった。全くもって未熟さ、練習不足であった。その後は、トラベラーは真ん中で固定したままで走った。

北の陸からの風は常に振れがあり、強弱があり、上空から吹き下ろすような風のため、予測がつかみにくい。そのためセールをタイトに上り角度追求しすぎると、パフでオーバーパワーとなりオーバーヒールになりやすい。(ブームバングは引き気味であるが、私はメインシートでリーチコントロールした)。

風に振れがあるので背中(風上)のパフを少しでもとりたいので上り気味となりがちとなる。

オーバーヒールせずにドライブ(プレーニング)し続けベストスピードを追求するのがベストだが、下マークから上マークまで10分足らずと短く、振れ回る風に対処すべくタックのタイミングを探るべくコース取りが重要となると、その時点、瞬間、瞬間でベストプライオリティー(最優先順位)が常に変わってくる。

リーチングでは常にドライビングモードでプレーニングせねばならないが、その時々々のセールセッティングが難しかった。ベアー優先であればジブハリヤードをゆるめ、あたかもスピナーカーのように展開してプ



秋山さん(左)と小澤さん。スーパーグランドマスタークラスも制覇！

レーニングしてくれるのだが、他艇とのラフィングマッチや瞬時に上側のパフを取りにいきたいときなどは裏風がはいりつぶれてしまう。

メインセール、ジブセールともフルバテンであるのでセッティング次第で風の流れは劇的に変化すると思う。しかし総じてフリーの走らせ方は私を含め遅いのではないかな……。

なんか重たいスナイブ級で、ただ最短コース優先で走っているかのごとくである。

スピンプールしか無いとはいえ軽量のテザー級でフルバテンのセールを100%使いこなせれば目からうろこのフリーを制することが出来るのではないかな。

そのための条件はもっと吹き上がった風で、うねりをともなった波がでてくれることだと思うのだが。

## 初めてのテザー全日本選手権に参加して

伊藤 一石さん



伊藤さん（右）と本吉さん

全国のテザーセーラーのみなさん、はじめまして。2017年の春からテザーに乗り始めた江の島フリートの伊藤と申します。テザーは、以前より非常に興味を持っていたクラスであったものの、なかなかタイミングが合わず、乗る機会を作れずにいました。

しかし、蒲郡のワールド開催を知ってからは居ても立ってもいられず、急ピッチでボートを探し、2017年のスプリングレガッタの出場に漕ぎつけました。そこから何戦かシーズンレガッタに出場させていただき、なんとなく「わからないことがわかった」気がしたので、和歌山出発の3日前に大学の後輩でもあった本吉夏樹に声を掛けました。

彼については、テザーのみなさんもお存じの通り、現在はプロとして、多方面で活躍しているセーラーです。私の今回の全日本の課題は「わからないことを全部聞く」でした。レースをしながら、「テザーの〇〇って〇〇なの?」「この場合はどっち?」と質問攻めです。完全に先輩後輩の立場は逆転していますが、遠慮無くなんでも聞いたり、ディスカッションできる空気感は最高に楽しかったですね。そしてフィニッシュしたあとに気さくに声を掛けて下さる他チームの方々も、とてもフレンドリーで、とにかく何番を走っていても最高に楽しいです。風も久々の強風メインのコンディションで、ヘロヘロになりながらもリーチングレグのプレーニングは2人で笑いが止まりません。そんな中、クルーの助けもあり、どうにか最終日まではすべてのレースを5位以内でまとめることができました。

ちなみに、最終日の最終レースはすでに何番でも総合順位は決まっていたので、「一度くらいトップホーンを鳴らさせてくれ」とクルーにお願いし、意気揚々とコースエンドに飛び出したものの、途中でティラーエクステンションが取れ、遭えなく終了でした(笑)

今回は運良く3位という成績をいただきましたが、私が知る限りでもまだまだ速いチームはたくさんいらっしゃいますし、何より、今回の上位2チームとの差はまだまだ大きなものがあります。蒲郡のワールドで最高の結果を迎えられるようにここから約8カ月間、トレーニングを積んで備えていきたいと思えます。もちろんワールド終わってもテザーは続けますけどね。まだまだテザー新参者の私にお手伝いできることは少ないですが、今後ともよろしく願いいたします。





## 日本テナー協会 2016 年度年次総会議事録

日時：2016年10月8日（土）16：30～17：40

場所：和歌山セーリングセンター2F 会議室

1. 開会宣言（事務局）
2. 会員数・出席者および委任状確認・総会成立布告（事務局）  
当日会員数：81名 → 定足数：27名（会員数×1/3）  
出席者数：22名  
委任状数：16名  
→出席者・委任状合計：38名 よって総会成立  
\*（参考）オブザーバー出席者数：9名
3. 議長（田中郁也会長）により、議事進行
4. 総会議案確認
5. 報告事項
  - （1）活動報告（イベント、メジャラー、ルール普及、広報、強化、普及担当より報告）
  - （2）次年度活動予定（イベント担当）  
（補足説明）
    - ① スプリングレガッタ（開催地：葉山/日程 2017年4月23日～24日 or 4月29～30日）
    - ② アーリャレガッタ（開催地：江の島/日程：2017年5月 or 6月実施で調整中）
    - ③ 西日本選手権（開催地：芦屋/日程：2017年7月9日）
    - ④ 世界選手権（開催地：蒲郡/日程：2017年7月30日～8月6日）
    - ⑤ ミッドサマーレガッタ（開催地：未定/日程：8月末実施の猪苗代湖へのレガッタに参加を検討中）
    - ⑥ 全日本選手権（開催地：津/日程：2017年10月 or 11月実施で調整中）
    - ⑦ ミッドウインターレガッタ（開催地：稲毛/日程：2018年1月 or 2月実施で調整中）全7レガッタ実施予定、⑤を除く6レガッタを2017年度TOYの対象とする予定
  - （3）会計報告（前年度決算報告）  
（補足説明）
    - ・概ね予算どおりであるが、変更点は理事メンバー交通費を電話会議システム購入費に充てた点と10年使用できる全日本大会横断幕を購入した点。
  - （4）ワールド準備状況報告（準備進捗状況、今後の予定・具体的な大会スケジュール、協力や協賛および資金の見通し、今後の課題、準備委員会の体制、大会予算案を説明）

## 6. 審議事項

(1) 次年度予算案 ⇒全会一致で承認

(補足説明)

- ・ ネットバンク手数料を新たに計上する。
- ・ ワールド運営にかかる補填金として 50 万円 (金額仮置き) 計上する

(2) 追加議題 ⇒総会議案の追加・変更は無

(会員から出された主な質問・意見など)

- ・ ワールド前年としては西日本・オータムの出走艇数が少ない。例えば、オータムレガッタについてはホストの稲毛フリートのメンバーの意見を聞いてみたい。
- ・ 昨年度まで開催されていた和歌山メモリアルレガッタは、今後はどうなるのか。
- ・ ワールド準備金の負担はいつまでか。
- ・ 予算収入における会員数の見込みは何をベースにしているのか。
- ・ 来年の海陽セーリングカップの予定はどうなっているか。
- ・ ワールドでのレースのやり方、例えばフリート分けを行うかどうかなど意見を言う機会はないのか。
- ・ 全日本の開催時期について、10月3連休は他の行事と重なる場合が多いので考慮してほしい。

## 7. 閉会挨拶

※総会資料はテザー協会会員にはメールにて配布済みです。JTA 会員の方で総会資料が必要な場合には、[jta-information@tasarjapan.org](mailto:jta-information@tasarjapan.org) までご連絡をお願いします。

以上

# 2016年度テザーオートムレガッタ成績表

2016年9月25日 稲毛ヨットハーバー

順位	セールNo.	クラス	スキッパー	クルー 1	クルー 2	フリート	race1		race2		race3		race4		合計	修正
							順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点		
1	2572	M	軽部 香	軽部 竜也	-	稲毛	1	1	1	1	1	1	4	4	7	3
2	2862	M	佐藤 浩章	村岸 恭明	-	江ノ島	2	2	4	4	2	2	1	1	9	5
3	2726	M	関根 恒久	村山 豊	-	稲毛	6	6	2	2	3	3	7	7	18	11
4	2880		池田 陽平	須山 研吾	-	稲毛	7	7	6	6	4	4	2	2	19	12
5	2745		関口 真秀	上松 慮生	-	江ノ島	3	3	11	11	6	6	3	3	23	12
6	2765	GM	田中 郁也	田中 紀子	-	稲毛	4	4	7	7	5	5	5	5	21	14
7	2707	M	石塚 恒志	河合 理香	-	浜名湖	5	5	3	3	12	12	10	10	30	18
8	2593	M	亀山 寛達	井上 敦	-	稲毛	9	9	5	5	7	7	DNF	15	36	21
9	2748		米本 隆	鬼塚 一浩	-	葉山	8	8	12	12	10	10	6	6	36	24
10	2749	M	野口 優	杉田 智宏	-	稲毛	10	10	9	9	8	8	8	8	35	25
11	2719	M	石川 光輝	中林 正任	-	大阪北港	11	11	10	10	9	9	9	9	39	28
12	2741		伊藤 一石	森島 裕太	-	江ノ島	12	12	8	8	11	11	11	11	42	30
13	2730	GM	宇佐美 重則	小田倉 里美	-	稲毛	DNC	15	DNC	15	DNC	15	DNC	15	60	45
13	2736		山村 太郎	森 龍哉	-	稲毛	DNC	15	DNC	15	DNC	15	DNC	15	60	45

スタート	10:40:00	スタート	11:58:00	スタート	12:48:00	スタート	13:41:00
トップ艇	11:13:40	トップ艇	12:37:35	トップ艇	13:29:50	トップ艇	14:30:53
フィニッシュ	11:19:50	フィニッシュ	12:40:25	フィニッシュ	13:33:48	フィニッシュ	14:44:30
風向	240度	風向	280度	風向	280度	風向	280度
風速	3m/s	風速	2m/s	風速	3.5m/s	風速	3.5m/s

### 第31回テザー全日本選手権

主催: 日本テザー協会  
 公認: 公益財団法人日本セーリング連盟  
 協力: 和歌山県セーリング連盟、NPO法人和歌山セーリングクラブ  
 期日: 2016年10月8日(土)~10日(月)  
 開催地: ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点(和歌山セーリングセンター)

Total Rank	SAIL No.	フリート	選手	AGE	Race 1						Race 2			Race 3			Race 4			Race 5			Race 6			ALL			M		GM		SGM	
					Order	Rank	Point	Order	Rank	Point	Order	Rank	Point	Order	Rank	Point	Order	Rank	Point	Order	Rank	Point	Order	Rank	Point	Order	Rank	Point	Worst Point	Total pt	Total Rank	Total pt	Total Rank	Total pt
1	2809	浜名湖	高橋 洸志 杉浦 博之		1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	2	2	2	1	1	1	2	6	1									
2	2663	琵琶湖	小沢 拓身 秋山 紀夫	SGM	4	4	4	2	2	2	1	1	1	2	2	2	1	1	1	2	2	2	4	8	2							8	1	
3	2741	江ノ島	伊藤 一石 本吉夏樹		3	3	3	4	4	4	3	3	3	3	3	3	5	5	5	13	13	13	13	18	3									
4	2880	稲毛	池田 陽平 鷺尾 大吾		2	2	2	6	6	6	5	5	5	5	5	5	3	3	3	8	8	8	8	21	4									
5	2765	稲毛	田中 郁也 田中 紀子	GM	5	5	5	7	7	7	6	6	6	12	12	12	4	4	4	6	6	6	12	28	5			28	1					
6	2593	稲毛	亀山 寛達 井上 敦	M	15	15	15	3	3	3	14	14	14	8	8	8	10	10	10	5	5	5	15	40	6	40	1							
7	2208	芦屋	南屋 恵美子 長 義晴	M	7	7	7	9	9	9	4	4	4	13	13	13	9	9	9	16	16	16	16	42	7	42	2							
8	2653	大阪北港	多田 幸男 九富 潤一郎	SGM	13	13	13	12	12	12	7	7	7	6	6	6	11	11	11	10	10	10	13	46	8						46	2		
9	2395	未所属	本吉 譲治 三苫 稔尚	M	8	8	8	5	5	5	16	16	16	7	7	7	12	12	12	17	17	17	17	48	9	48	3							
10	2821	江ノ島	戸室 宣房 堀之内 孝一郎	M	11	11	11	11	11	11	15	15	15	4	DPI	7	UFD	UFD	27	7	7	7	27	51	10	51	4							
11	2396	葉山	山本 晴之 山本 玲子	M	10	10	10	15	15	15	13	13	13	10	10	10	8	8	8	12	12	12	15	53	11	53	5							
12	2573	大阪北港	荒岡 晃彦 玉置 淳	M	12	12	12	18	18	18	9	9	9	9	9	9	UFD	UFD	27	9	9	9	27	57	12	57	6							
13	2707	浜名湖	石塚 恒志 国武 一樹	GM	9	9	9	8	8	8	RET	RET	27	17	17	17	6	6	6	18	18	18	27	58	13			58	2					
14	2655	和歌浦	岡本 憲二 蜂須賀 弘美 福永 治久	GM	17	17	17	13	13	13	8	8	8	21	21	21	19	19	19	4	4	4	21	61	14			61	3					
15	2669	大阪北港	池田 俊則 秋吉 寿美子	GM	6	6	6	10	10	10	10	10	10	19	19	19	18	18	18	19	19	19	19	63	15			63	4					
16	2705	芦屋	植田 泰平 植田 典子 植田 遼空		18	18	18	16	16	16	12	12	12	11	11	11	7	7	7	21	21	21	21	64	16									
17	2575	葉山	石井 浩一郎 野嶋 嘉昭	GM	14	14	14	20	20	20	21	21	21	20	20	20	13	13	13	3	3	3	21	70	17			70	5					
18	2719	大阪北港	石川 光輝 泉 香月	M	16	16	16	17	17	17	11	11	11	15	15	15	15	15	15	14	14	14	17	71	18	71	7							
19	2861	大阪北港	三輪 記裕 中山 弘幸		19	19	19	19	19	19	17	17	17	RET	RET	27	16	16	16	11	11	11	27	82	19									
20	2745	江ノ島	関口 真秀 上松 慮生		20	20	20	14	14	14	RET	RET	27	14	14	14	14	14	14	23	23	23	27	85	20									
21	2867	大阪北港	上田 俊雄 木谷 悠二		23	23	23	21	21	21	18	18	18	16	16	16	17	17	17	15	15	15	23	87	21									
22	2657	浜名湖	長谷川 勝啓 長谷川 大智 長谷川 帆風		21	21	21	22	22	22	19	19	19	23	23	23	21	21	21	20	20	20	23	103	22									
23	2219	琵琶湖	木下 清 北村 重雄	SGM	24	24	24	23	23	23	20	20	20	22	DPI	25	20	20	20	DNS	DNS	27	27	112	23						112	3		
24	2748	葉山	米本 隆 鬼塚 一浩		22	22	22	DNC	DNC	27	DNC	DNC	27	18	18	18	DNC	DNC	27	22	22	22	27	116	24									
25	2723	琵琶湖	安田 寛 長野 国比古	SGM	DNF	DNF	27	RET	RET	27	DNC	DNC	27	27	135	25						135	4											
25	2720	葉山	岡 誠 宮下 健	M	DNC	DNC	27	DNC	DNC	27	DNC	DNC	27	DNC	DNC	27	DNC	DNC	27	DNC	DNC	27	27	135	25	135	8							



Date	9-Oct-16	9-Oct-16	9-Oct-16	10-Oct-16	10-Oct-16	10-Oct-16
Starting time	10:50:00	12:45:00	14:13:00	11:09:00	12:26:00	13:40:00
Finishing time	11:35:57	13:36:52	14:58:55	11:56:10	13:11:18	14:21:54
Race end time	11:50:57	13:46:15	15:07:09	0:00:00	13:19:34	14:29:12
Wind direction	25 °	40 °	35 °	35 °	30 °	10 °
Wind speed	16.0 kt	15.0 kt	12.0 kt	10.0 kt	12.0 kt	15.0 kt